

図書館かがわ

香川県立図書館報 第128号

Library Kagawa

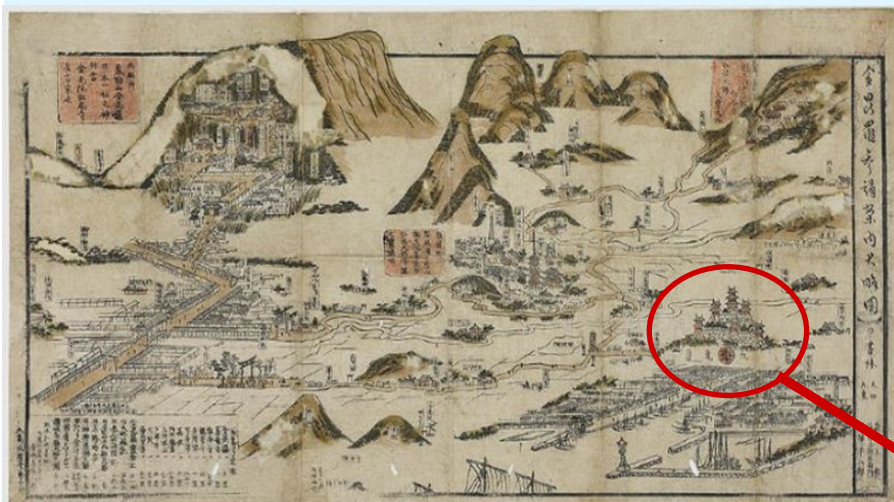


発行日 2020.7.1

ISSN 1344-5464

「香川県立図書館デジタルライブラリー」は、当館が所蔵している郷土資料のうち、江戸時代や明治時代に作成された絵図56点、古文書283点を、資料の保存や香川の文化の発信のため、デジタル化し、公開したものです。

ご家庭のパソコンやスマートフォンから簡単に見ることができます！！



拡大すると



公開している資料の中に、丸亀の港から金毘羅までの道程を描いた「金毘羅参詣案内大略図」という絵図があります。絵図に描かれている丸亀城を見ると、現在の姿とはかなり違っていることが分かります。単純な描線の中にも、絵師が感じた従来の丸亀城のゴージャスさが伝わってくる気がします。

このデジタルライブラリーでは、拡大機能でより詳細に見ることが出来たり、ページめくり機能や印刷もすることができます。

他にもデジタルライブラリーでは、「四国遍路」「空海」「金毘羅」「その他讃岐(香川)の歴史」の4つの分野に分けて公開しています。

みなさんも香川県立図書館デジタルライブラリーで、今まで知らなかった香川県の歴史に触れてみませんか。

<https://www.library.pref.kagawa.lg.jp/digitallibrary/index.html>

レファレンス日誌から 第8回

～「川はどこから流れてくるの」の巻～



昨年の夏休み、レファレンスカウンターである親子からこんな質問を受けました。

「新川の源流が分かる本はありますか。新川の源流を探して下流からたどっていくと、途中で川が枝分かれして、別の川になっていたんです。スマートフォンで地図を見たけど、どこが源流かよくわからなくて。」

小学校低学年の子どもの自由研究のための調べものとのこと。トマス・ロッカーの絵本『川はどこからながれてくるの』を彷彿とさせる、素敵な自由研究です。おじいさんが、「川はどこから流れてくるのか」という疑問を持った孫を連れて、川の始まりを探す旅に出るというストーリーで、イギリスの画家ターナーのような美しい絵が印象的な絵本です。

まず、新川の源流についての具体的な記述がないかと、『角川日本地名大辞典』を開いてみると、「新川」の項目に「三木町鹿庭三番付近に源を発し」とありました。

次に、縮尺の小さい詳しい地図を見ようと、『ゼンリン住宅地図香川県木田郡三木町』で鹿庭のページを開き、源流らしき所（残念ながら地番の表記はありませんでした）から下流の方を見ていくと、依頼者が迷った川の分岐点や川の名前もわかりました。

今度は、源流に無事たどり着けるといいなと思いつつ、親子を見送りました。

例年の夏休みは、読書感想文や自由研究の本を探す子どもたちでにぎわう図書館ですが、今年は、夏休み期間が短縮されるなど、いつもと違ったものになりそうです。それでも、みなさんに、図書館に来てよかったと思っていただけるように、夏休みに向け準備しておこうと思っています。

(追記) 鹿庭「三番」は、地番ではなく小字名でした。
参考文献：『三木町史』 p 977

<ご紹介した本>

①『川はどこからながれてくるの』

トマス＝ロッカー／さく、みのうらまりこ／やく 偕成社／刊

②『ゼンリン住宅地図香川県木田郡三木町』ゼンリン／刊

③『角川日本地名大辞典 37 香川県』角川日本地名大辞典編纂委員会／編 角川書店／刊

●新型コロナウイルスの感染防止について●

新型コロナウイルスの感染防止のため、利用者の皆さまには、次のとおりご協力をお願いしております。

- 発熱や咳等の風邪症状が見られる方は、ご利用をお控えください。
- 館内では、マスクを着用してください。
- 入館・退館時には、館内出入口の消毒薬で、手指を消毒してください。
- 利用者同士、混雑を避け、間隔をあけてご利用ください。

利用者の皆さま同士の間隔を確保するなど、7月1日現在、以下の対策を行っています。

- 閲覧席の配置の変更と席数の削減
- 閲覧台配架の新聞数の変更
- インターネット端末数(商用データベース含む)の削減
- 出入口付近の手指消毒液の増設
- カウンターに飛沫防止のためのビニールシートの間仕切りを設置
- 清掃スタッフによる閲覧席等の定期的な除菌



利用者の皆さまに安心して図書館をご利用いただくため、感染の拡がりの状況に応じて適切に対応してまいりますので、ご理解・ご協力をお願いいたします。

～ 麺 ～

この本オススメです！

そうめん

夏になると食べたくなる麺類と言えば、まず素麺ですよね。素麺は7月7日の七夕の行事食としても親しまれています。これは、宇多天皇の命によって平安時代の宮中で、素麺の原型と言われる食物「索餅(さくべい)」が、七夕の行事食として出されるようになったのが始まりと言われています。

また、香川県民に親しまれている、うどんは、大正期後半から昭和期頃にかけて、県内の農村で、
はんげしょう
田植えの終わる半夏生の日(7月2日頃)などに、特別な日のごちそうとして食べられるようになりました。その後、徐々に普通の食事として広まっていったようです。

今回は、私たちの食生活の中で親しまれてきた麺の歴史に関する本やレシピの本を紹介します。

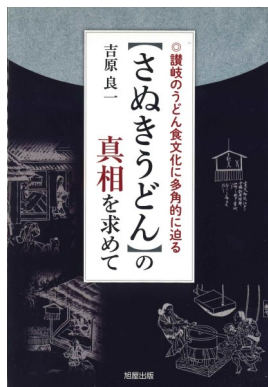


『そうめん The SOMEN recipe book』

満留 邦子／著（成美堂出版）2016.7（請求記号:5963/M54）

まるごと一冊が素麺のレシピという珍しい本です。「芽かぶつゆ」「豆乳つゆ」など、試してみたいくなる「つゆ」のアレンジレシピも紹介されています。

もちろん、冷たいそうめんと温かいそうめんのレシピ、各地の郷土料理のレシピ、リメイクレシピなどもたくさん掲載されているので、一年を通して素麺を思う存分に楽しみたい人におすすめの一冊です。

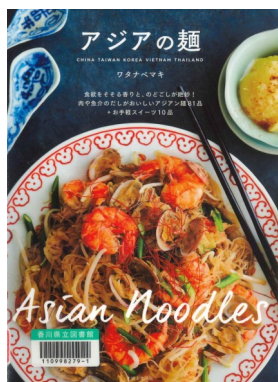


『【さぬきうどん】の真相を求めて 讃岐のうどん食文化に多角的に迫る』

吉原 良一／著（旭屋出版）2018.10（請求記号:K5960/Y5/2）

本書は、さぬきうどんについて、「源流はいつ、どのように現れたのか」「なぜ香川県の県民食になったのか」「なぜ、全国で人気を得たのか」「おいしさの本質とは」などを多角的に解説しています。

また、さぬきうどんの打ち方や、よりおいしくなる茹で方も紹介されているので、さぬきうどんについての幅広い知識が身に付きますよ。



『アジアの麺』

ワタナベ マキ／著（主婦と生活社）2018.6（請求記号:5963/W8/7）

ビーフンやフォー、冷麺など、日本でもおなじみのメニューから、「思わずよだれが出てしまうほどおいしい」よだれ鶏麺など、著者が旅先で出会ったアジアの国々のおいしい麺料理81品が紹介されています。

スパイシーなアジア麺料理は夏にぴったりです。海外への渡航が難しい今、外国の文化を料理で味わってみてはいかがでしょうか。

●図書館のコーナー紹介 ～健やか生活応援コーナー～●



健やか生活応援コーナーは、健康維持に役立つ資料や、病気になった時に参考にしたい資料、また医療職・介護職として働いている人にも役立つ資料などを集めています。

健康・医療・介護・生きがいの4つのテーマに分けて配架し、平成26年12月の開設当初1,500冊だった本は、現在約5,800冊に増えました。

「お医者さんの言った単語が分からなくて」「健康を保つためにはどんな食事がいい?」「高齢者向けの手遊びやレクリエーションの本はある?」など医療や健康について解決のヒントになる本や、現在も活躍している高齢者の伝記、中高年向けの人生訓の本など、生きがいを見つけるきっかけになる本もそろっています。

また、2か月ごとに利用者の関心の高い話題や時宜に応じたテーマでミニ展示を行ったり、大学や医療機関等と連携して年2回、健やか生活応援講座も開催しています。

場所は、図書館の入口をに入って左側、新聞・雑誌コーナーの奥にあります。中高年の方の利用も多く、コーナー付近の椅子やソファでゆっくり読書もできますので、ぜひご利用ください。

★健やか生活応援コーナーでは、他にもこんな資料を集めています★

パンフレットラック



県の関係組織や県立病院、大学病院、高松赤十字病院ほか、国や公益法人等が発行している医療や健康などに関するパンフレットを配布しています。

がん情報ギフト



平成30年3月に、国立がん研究センターが全国の公共図書館等のがん情報に関する小冊子等を寄贈するプロジェクト「がん情報ギフト」を県内で初めて受贈し、現在も展示・配布を行っています。

◆ 詳しい情報は、当館ホームページをご覧ください。

編集・発行 香川県立図書館

〒761-0393 高松市林町2217-19(香川インテリジェントパーク内)

TEL 087-868-0567 FAX 087-868-0607

<https://www.library.pref.kagawa.lg.jp/>